

昭和電工株式会社

CSRサイトレポート 2021



伊勢崎事業所

目次

伊勢崎事業所長 ご挨拶	1
伊勢崎事業所概要	2～4
無事故・無災害事業所の実現のために	
伊勢崎事業所 環境・安全衛生方針	5
労働安全・衛生	6～7
防災訓練	8
環境保全のために	
環境負荷低減への取り組み	9
P R T R 対象物質の排出量	10
廃棄物削減	10
水質汚濁物質・大気汚染物質排出状況	10
アルミ缶リサイクル活動	11
地域・社会とのコミュニケーション	
事業所見学の実施	12
地域社会への貢献	13

伊勢崎事業所長 ご挨拶

昭和電工株式会社 伊勢崎事業所は1969年（昭和44年）から50年以上に亘り、この地でプラスチックの一つである熱硬化性樹脂の製造を中心に操業を続けてまいりました。

これは地域の皆様をはじめとし、多くの皆様のご理解とご支援、ご協力の賜物でございます。

改めて心から感謝申し上げます。

現在、伊勢崎事業所で製造する製品は、テレビ等の液晶モニターをはじめとする電子材料部材、建築材料、土木材料、輸送関連部材等、様々な生活必需品の中でご使用頂いております。

当事業所におきましては、災害・トラブルを絶対に起こさないという強い意志のもと、「ALL is ゼロ」を実現すべく、防災への各種訓練をはじめ、化学物質の安全な取り扱い、環境負荷の低減等、トラブルを起こさないための様々な活動に取り組んでいます。

また、「お客様に感動頂ける製品・サービスの提供」をスローガンに、社会をより豊かにする製品開発に努めてまいります。

地域の皆様に対しましても、常にオープンな事業所を心がけ、安全・安心に配慮し、皆様に信頼される事業所を目指します。

また、多くの皆様に当事業所をご理解いただけるよう、工場見学や近隣地域の清掃活動、インターンシップの受け入れ等、様々な活動にも積極的に取り組んでまいります。

この「伊勢崎事業所CSRサイトレポート」は、2020年一年間の取り組みと実績をまとめたものです。皆様に読みやすい、ご理解いただきやすい紙面づくりを心掛けております。

このレポートが伊勢崎事業所の諸活動をご理解頂く一助になり、皆様から、率直なご意見・ご要望を頂ければ幸甚でございます。



伊勢崎事業所長 丸山 和浩

伊勢崎事業所概要

□伊勢崎事業所の立地

伊勢崎事業所は、群馬県と埼玉県の県境を流れる利根川に沿って位置する八斗島工業団地に製造拠点を構えて生産活動を行っています。

所在地・敷地面積



所在地	群馬県伊勢崎市 富塚町1019-1
敷地面積	60,642m ² 2020年12月31日現在

□伊勢崎事業所は2019年で50周年を迎えました

伊勢崎事業所が誕生して、2019年で50年。

技術の発展に伴い、50年以上に亘って変化・成長をしてまいりました。

これからも、お客様からの「ありがとう」を原動力に、次の50年に向けて飛躍します。

50年前の伊勢崎事業所(土地)



現在の伊勢崎事業所

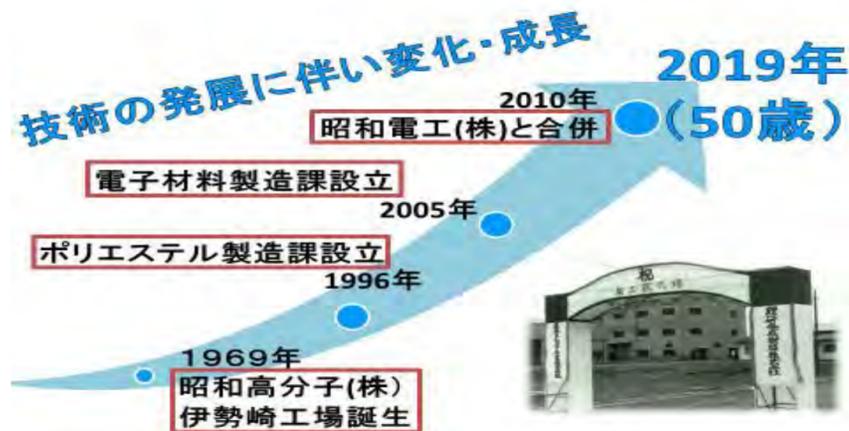


伊勢崎事業所概要

□ 伊勢崎事業所の発展経緯

伊勢崎事業所は、1969年に昭和高分子株式会社の伊勢崎工場として誕生しました。

当初はホルマリンとエマルジョンの生産をしておりましたが、1996年にポリエステル製造課、2005年に電子材料製造課をそれぞれ設立しました。そして、2010年に昭和電工株式会社と合併し、現在に至ります。



□ 伊勢崎事業所の製品

伊勢崎事業所は、不飽和ポリエステル樹脂、ビニルエステル樹脂、アクリル樹脂の製造と開発を行っています。最終製品として一般の方の目に触れるものではありませんが、皆様の日常に欠かせない製品の部材として使用され、社会に貢献しています。

◀製品使用例▶

住宅関連

不飽和ポリエステル樹脂

○ユニットバス



・壁材SMC ベース
・バスタブ/洗い場裏打ち (FRP)

○合併浄化槽



・外殻 (FRP)

ビニルエステル樹脂

○耐食タンク (塩酸など)

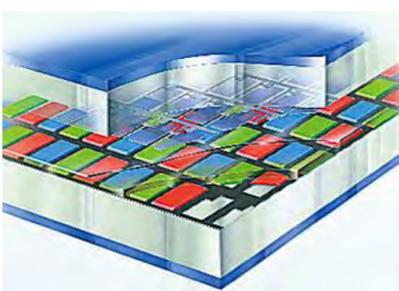


・外殻 (FRP)

電子材料関連

アクリル樹脂

○液晶ディスプレイ用カラーフィルター



・バインダー
・分散剤

ビニルエステル樹脂

○プリント基板



・絶縁性保護膜

伊勢崎事業所概要

□ ポリエステル樹脂用途

当事業所で製造しているポリエステル樹脂は、高い耐薬品性や耐水性を有します。

そのため、下水管の更生といったインフラ事業で使用されています。

また、高い耐衝撃性も備えているため、バイク用のヘルメットなどにも採用されています。

下水管の更生



施工前



施工後

バイク用ヘルメット



□ 電子材料樹脂用途

電子機器や液晶機器の高性能化に伴い、素材となる樹脂の高純度化が必要となっています。

当事業所では、スマートフォンや液晶テレビに使用される高純度の樹脂を製造しています。

製造過程において精密な工程管理を行い、顧客の要求に合わせた製品を製造することで、高品質・高性能な製品を提供しています。

液晶ディスプレイ用カラーフィルター用途の樹脂は、当事業所で製造したものが多く使われており、現在世界シェア約27%となっています。

電子機器・液晶の高性能化



素材樹脂の高純度化が必要

スマートフォン



液晶テレビ



精密な工程管理

高品質・高性能

世界シェア約27% (当社調べ)

伊勢崎事業所 環境・安全衛生方針

昭和電工株式会社 伊勢崎事業所は、製品の製造・開発において、地球環境への調和と地域との共生を進め、安全・安心で持続可能な社会の形成に貢献すると共に、従業員、協力企業員、その他の関係者全ての人々が安全・安心、かつ健康で快適な職場を目指し、以下の環境・安全衛生方針を定める。

また、この方針の実現のため、従業員、協力企業員、その他の関係者全てが協力し、事業所の環境・安全衛生活動を推し進めていくものとする。

1. 化学製品の設計から物流までの段階で、廃棄物や環境負荷の削減、省資源、省エネルギー等環境保全に配慮した活動に努める。
2. 伊勢崎事業所の活動が環境に及ぼす影響を認識し、継続的な改善と汚染の予防に努める。
3. 職場での安全衛生活動（危険予知、指差呼称、ヒヤリハット、災害水平展開、巡視、5 S等）を継続的に改善し、より良い安全衛生文化の醸成に努める。
4. 設備・機械、作業、取扱化学物質のリスクアセスメントを全ての従業員の参画のもと実施し、リスク低減活動を継続的に実施する。
5. 環境、安全衛生に関する法令と事業所規程をよく理解し、遵守する。
6. 作業マニュアル、薬傷防止保護具の完全着用など、決められたルールを守り、不適合があれば現状に即して速やかに見直す。
7. 作業環境測定、健康診断、メンタルヘルス対応、健康相談等を確実に実施し、その結果に基づく作業、および作業環境の改善を推進する。
8. 事業所の環境及び労働安全衛生管理システムを適切に実施・運用して、環境安全衛生管理水準をスパイラルアップする。

この環境・安全衛生方針は、従業員、協力企業員、その他の関係者全てに周知すると共に外部から要請があった場合には、これを開示する。

2021年1月4日

伊勢崎事業所長 丸山 和浩

労働安全・衛生

伊勢崎事業所では、『労働災害ゼロ』の実現に向けて、従業員と協力企業員が一丸となって様々な取り組みをしています。取り組みのうち主な活動を紹介します。

□安全活動

(1) リスクアセスメント活動

作業における潜在的な危険性・有害性を抽出し、予防・除去・低減するための活動です。

(2) ヒヤリハット活動

ヒヤリとしたりハットしたなど、ちょっとしたミスや体験を共有し、再発を防止する活動です。

(3) 災害水平展開活動

他事業所や協力会社で生じた災害は、職場会議で、原因、対策案、類似作業について話し合い、また、必要に応じて対策を実施し、再発防止に努めています。

(4) 危険体感教育

危険な状態、危険な作業を実際に模擬体験することで、危険に対する意識が高くなり、安全に作業することが身につきます。

安全教育の一環として、外部機関等で模擬体験の研修を行っています。

(5) 作業前KY（危険予知）活動

作業開始前に、その作業にどんな危険が潜んでいるかを事前に予測して防止する活動を行っています。

(6) STOP（Safety Training Observation Program）活動

危険感受性の向上を図る為、作業中の写真や動画を見て、その作業の安全上で良い点、悪い点を一人ひとり抽出し、グループ皆で討議する活動を行っています。

(7) 安全推進者活動

安全意識の向上を目的として、安全活動推進の意識と責任を持たせるため、毎月各部署毎に安全推進者を指名し、パトロール、ヒヤリハット活動、指差呼称活動、作業前KY活動等、様々な安全活動を推進しています。

(8) ノンテクニカルスキル※教育

2018年からノンテクニカルスキル教育を実施しています。

本教育の目的・期待される効果は、受講者の気づきを促進し、行動変容（状況認識・コミュニケーション・意思決定等）に結びつけることです。

繰り返し教育を行うことで、ノンテクニカルスキルの向上を図っています。

※ノンテクニカルスキル：状況認識、コミュニケーション、リーダーシップ等、ヒューマンファクターに係るエラーを防止し、安全を確保していくための現場（指示する方も）が持つべきスキルの総称

(9) 熱中症対策

夏季の作業では作業者の熱中症が懸念されます。WBGT計（暑さ指数計）の設置、予防サポート（教育、水分補給、塩分補給サプリメント）、声掛け等の対策を実施しています。

□安全祈念行事

過去に発生した事故を風化させないため、そしてその教訓をあらためて認識するため、毎年、6月末～7月初めに「安全祈念日」を設け、安全意識を高める為の様々な行事を実施しています。

2020年は、コロナ禍であることを考慮し、従業員が一堂に会しての行事は実施できませんでしたが、事業所長とユニオン支部長それぞれの安全メッセージを全従業員に発信し、安全安定操業を最優先とする想いを共有しています。



事業所長訓話（2019年）

□フォークリフト危険体感教育

フォークリフトは重量物の運搬作業の効率化のために非常に有用です。一方、フォークリフトを運転するときは、視野が狭くなりがちで、重心が不安定になりやすく、狭い場所での作業も多いため、十分な運転技能を有するだけでなく、気を付けるべきポイントや、してはいけない操作等を常に認識しておくことが重要です。

伊勢崎事業所では、定期的にフォークリフト危険体感教育を実施しています。

運転時に死角になるところを確認したり、水を入れたドラムを運搬中、敢えて急ブレーキをかけてその危険性を体感することで、日常業務における安全運転の重要性を再認識しています。



運転時の死角、急停止時の危険性（漏洩）を体験しました

無事故・無災害事業所の実現のために

防災訓練

伊勢崎事業所では、事業所内での火災や有害物質漏洩等の緊急事態が発生した場合に備え、事故の拡大防止、消防等行政機関への通報、避難を含めた訓練を定期的に行っています。

□防災訓練

(1)2020年11月 火災対応訓練



延焼防止のための放水訓練の様子



訓練終了後、事業所長より講評、訓話

(2)2019年11月 伊勢崎消防署と合同総合防災訓練（地震・避難・火災対応）



地震による避難訓練の様子



伊勢崎消防署員による消火指導の様子



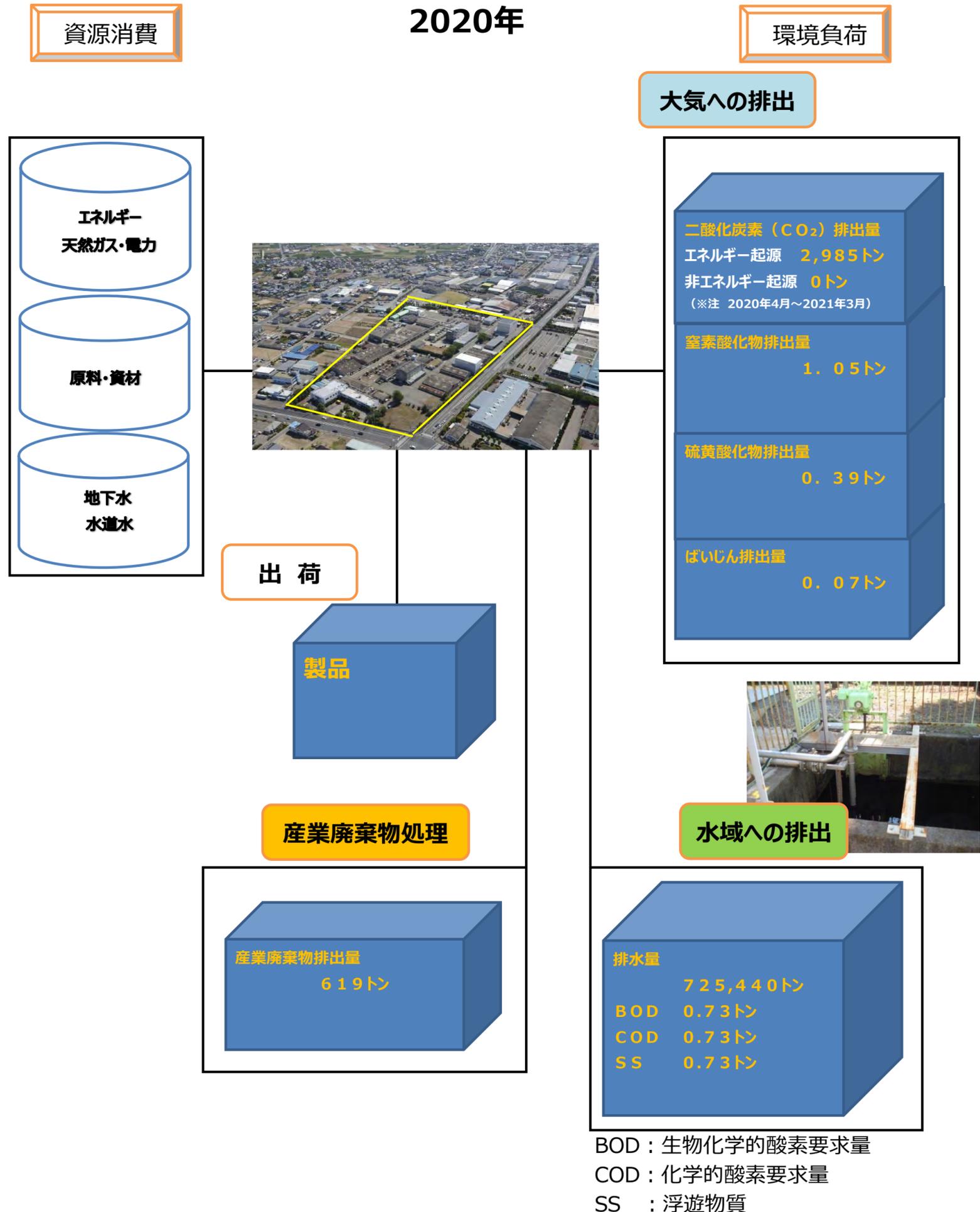
訓練終了後、伊勢崎消防署員より講評

環境保全のために

環境負荷低減への取り組み

伊勢崎事業所では、合成樹脂を製造するために、原料・資材、電気・天然ガス等の資源やエネルギーを消費しています。また、生産活動に伴って、排ガス・排水・廃棄物等の環境負荷が発生するため、環境に及ぼす影響の継続的な低減に取り組んでいます。

また、伊勢崎事業所では、環境マネジメントシステムを構築し、2003年8月にISO14001認証を取得しています。



環境保全のために

PRTR対象物質の排出量

伊勢崎事業所では、PRTR対象物質（スチレン、トルエン等）の排出量等を把握し、その抑制に取り組んでいます。



※2020年度のPRTR対象物質排出量が大幅に減少していますが、これはポリエステル樹脂の生産を計画的に他事業所へ移管したこと等によります。

※2020年度集計期間：2020年4月～2021年3月

廃棄物削減

伊勢崎事業所では、ゼロ・エミッション（最終埋立処分量が産廃発生量の1%以下）の継続を目標に、廃棄物削減の取り組みを行っています。

2020年度の年間産業廃棄物排出総量は619トン、埋立処分率は0%で、ゼロエミッションを継続しています。



※2020年度集計期間：2020年4月～2021年3月

水質汚濁物質・大気汚染物質排出状況

水質汚濁物質の排出総量に大きな変化はありません。法定基準より厳しい自主管理値を設定して維持・管理をしています。

大気汚染物質排出状況は、窒素酸化物及びばいじんを含め法定基準を下回っています。



※2020年度集計期間：2020年4月～2021年3月

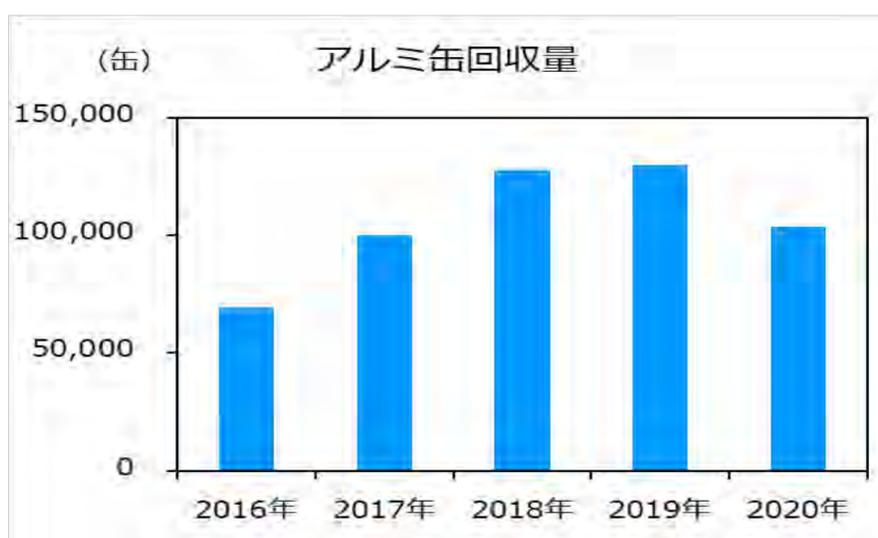
環境保全のために

アルミ缶リサイクル活動

昭和電工グループは、グループ全体でアルミ缶リサイクル活動に取り組んでいます。
アルミ缶のリサイクルは、アルミ資源の有効活用に加え、省エネルギーにも寄与します。アルミニウム地金製造時の電気使用量を、原料鉱石から生産する場合に比べて97%削減することができます。

伊勢崎事業所では、2010年にアルミ缶リサイクル活動を開始し、2013年からは近隣自治会で分別回収される使用済みアルミ缶の回収も行っています。

得られた収益は、自治体への還元や地元の福祉団体などへ寄付するなど、社会貢献活動に活用しています。



アルミ缶回収量



事業所で回収されたアルミ缶



2020年度アルミ缶リサイクル活動
表彰式の様子



本活動による収益より、
地元高校に備品を寄贈しました

事業所見学の実施

伊勢崎事業所では、地域の方々を対象とした事業所見学会と従業員家族見学会を毎年交互に行ってきました。2020年は新型コロナウイルスの影響で、残念ながら中止と致しました。

また、近隣の中学生・高校生を対象とした事業所見学会も開催し、将来の進路を考えるきっかけとなる様、化学工業の現場を見学をしていただきましたが、同様に中止と致しました。

コロナ禍で交流や活動に制約があるなかでも、地域とのつながりを守る活動として、「菰川をきれいにする会」や「アルミ缶リサイクル活動による地域への寄付」を続けております。

また、安全・安心な状況が回復しましたら、事業所見学会を再開する準備をしております。再開後には更に地域に貢献でき、地域のモデル会社となるような事業所を目指していきます。

□地域見学会(2019年)



□近隣の中学生・高校生を対象とした事業所見学会(2019年)



製品の特性について説明しました



製品開発の体験をしてもらいました

□海外からの事業所見学受入(2019年)



地域社会への貢献

□ 葦川をきれいにする会に参加

事業所からの排水は、葦川を經由して利根川へと流れていきます。葦川は、事業所にとって関わりの深い大切な川です。2013年より、近隣自治会が主催する「葦川をきれいにする会」の活動へ積極的に参加しています。伊勢崎事業所有志が、自治会の方々と親睦を深めながら、普段お世話になっている川の清掃活動を行っています。



参加者一同集合写真！



葦川をきれいにする会 有志の除草活動

□ 様々なイベントへの出展や地域交流を行っています。

2019年3月 「いせさき銘仙の日」



カラーフィルターを展示し、多くの方に楽しんでいただきました



□ 事業所納涼祭(2019年9月)

たくさんの近隣住民の方々・従業員・ご家族及び協力企業の方々にご参加頂きました。



長沼本郷町の方々と踊りました



子供向け出店も大人気でした

«本レポートに関するお問い合わせ先 発行元»

昭和電工株式会社 伊勢崎事業所 総務グループ

〒372-0833 群馬県伊勢崎市富塚町1019-1

TEL:0270-32-1151 FAX:0270-32-1158